

2020年3月6日

生産者 様
特約店 様
運送会社 様
倉庫会社 様

鹿島地区飼料工場懇話会



CSF・ASF 蔓延防止のため、防疫体制強化のお願い

平素は当懇話会加盟の各飼料工場に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年9月に埼玉県においてCSF（豚コレラ）が発生し、関東圏での蔓延が懸念されましたが、同年12月18日を以て、山梨県で発生した49例目のCSFの移動制限が解除され、ひとまず関東圏での蔓延は回避されましたが、その後、新たに沖縄県での感染が確認され、地元の畜産業界に大きな被害をもたらしたことご記憶に新しいことと存じます。

現在、関東各県ではCSFワクチンの接種が始まり、事態が終息することを期待しますが、沖縄県での突発的な発生もあり、油断は出来ない状況であります。一方で、本年開催される東京オリンピックに際しては、海外から多数の観戦客が予想され、それによって海外で猛威を振るうASF（アフリカ豚コレラ）の国内進入が懸念されます。これを受けて、農林水産省消費・安全局長は、茨城県知事に向けて、ASFの侵入を未然に防ぐため、農場への立入りの際には、衛生管理区域専用の衣服及び靴を設置し、これらを確実に着用させるよう指導しています。我々、鹿島地区飼料工場懇話会におきましても、生産者様に安心・安全な配合飼料をお届けするために、工場入場時には、必ず車両の消毒と専用長靴への履き替えをお願いする次第であります。

各工場にお越しの際、関係者様、運転手様には通常以上のお手間をとらすこととなりますが、何卒ご理解ご協力頂きますようお願い申し上げます。

以上

鹿島地区飼料工場懇話会メンバー

J A 東日本くみあい飼料(株)、鹿島飼料(株)、清水港飼料(株)、(株)ジャパンフィード、
昭和産業(株)、全国酪農飼料(株)、中部飼料(株)、日清丸紅飼料(株)、フィード・ワン(株)、
平成飼料(株)、まきば飼料(株)、雪印種苗(株)、豊橋飼料(株)

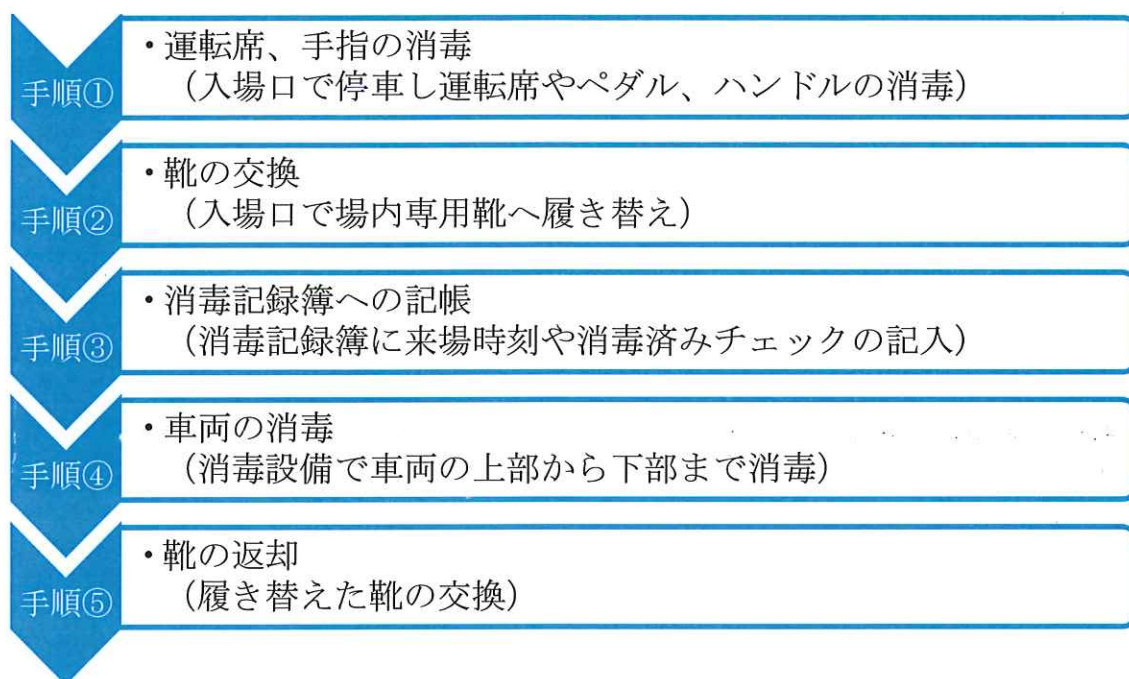
国内での家畜伝染病に関わる飼料配送に当たっての防疫対策の強化について（依頼）

家畜の伝染病である CSF（豚コレラ）に加えて、ASF（アフリカ豚コレラ）、HPAI（高病原性鳥インフルエンザ）に対して、飼料配送にあたっての防疫対策が注目されています。

つきましては、本病のまん延防止のため、飼料運送業者の皆様方のご協力が不可欠となることから、埼玉県畜産課からの通知に基づき、農場入場時の車両消毒、運転手の衣服・長靴交換に加えて、飼料工場入場時の防疫ルールの遵守の徹底につきまして、ご理解とご協力をお願いします。

（飼料工場防疫ルール例）

※詳細は飼料工場ごとの防疫ルールに従ってください。

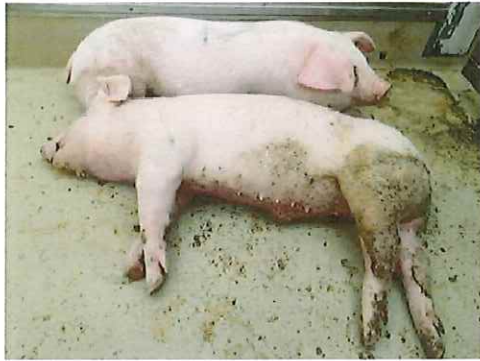


運転席内の消毒



靴の交換をしてから工場の中へ！

中部地区で 170 千頭殺処分で飼料 10,000 t / 月逸失 ≒ 10 t / 車 × 1,000 台 / 月が無くなりました！



(農研機構 HP)



(日経新聞 2020年2月6日)

予防対策の重要ポイント



(農林水産省 HP)

なお、CSF (豚コレラ) の詳細な情報については農林水産省の HP をご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/farmer.html>